

お知らせ

第1回松前町改革会議を開催しました

21世紀の松前町には、財政的にも体制的にも真に自立したまちづくりが求められていますが、三位一体の改革等により今後ますます厳しい財政状況が予想されます。

そのため、今までの行政運営の方法・制度を、新たな視点・発想で改革し、住民ニーズに的確に対応するための基本方針を策定するため、松前

町改革会議を設置しました。

第1回会議は、4月9日(金)

午後7時から9時25分まで開催し、会長に妹尾委員(松山大学法学部教授)を、副会長に藤岡委員を選出しました。

会議では、現状のままでは2億5千万円の財源が不足するとの試算が示され、事務事業の現状を踏まえ、松前町の課題について協議しました。

松前町改革会議委員名簿

妹尾 克敏	松山大学教授
戒田 順	松前町経済懇話会会長
山口 久夫	西古泉区長
白石 雅造	愛媛県町村議会議長会事務局長
山本 章	行政改革懇談会委員
藤岡 緑	行政改革懇談会委員
渡瀬 紀代	民生委員
大西多美子	文化センター運営委員会副委員長
早瀬 和子	農業委員
重川 利春	副議長
三好 悦男	監査委員
石川 晋吾	助役

※委員には、無報酬で参加頂いています。

松前町統計書平成15年度版ができました

本町の人口、産業、経済、文化、行財政等の各分野にわたり、基本的な統計資料を総合的に収録した「松前町統計書平成15年度版」を、役場庁舎1階の情報公開コーナーで公開していただきますのでご利用ください。

また、松前町公式ホームページにも掲載しています。  
問い合わせ  
役場企画財政課企画調整係  
☎985-4101

共立衛生組合塩美園の使用料金改正について

し尿処理費にかかる経費の増大等のため、4月1日より塩美園使用料金を次のとおり改正しました。

〔最大積載量1,800ℓ車  
一台につき3000円を6500円、最大積載量3,600ℓ車一台につき6000円を1,3000円〕

このことにより、各家庭のくみ取り料金が影響しないよう、くみ取り業者の方には、お願いしています。

ふるさとをたずねて

晴光院

文化財保護審議会委員 武市通彦

晴光院は伊予郡松前町神崎253番地にある。

大同2年(807)孝靈天皇の第3皇子、伊予親王の子孫、河野為世の寄進と民衆の厚い信仰により伊予親王の別当寺として建立されました。

往時は伊予神社の西南に広大な寺領を有し、七堂伽藍が整い塔頭、12寺を擁する大寺で隆盛を極めていたが、戦国の時代しばしば兵火にかかり、更に天正11年(1583)豊臣秀吉の命により、小早川隆景の伊予侵攻による河野氏の滅亡とともに寺も衰退し現在地に移転した。

慶安元年(1648)松山藩命により曹洞宗寺院として再興された。非常に格式の高い寺院で寺宝として、明和4年(1767)微山和尚の補任状『薄墨の繪旨』がある、大本山永平寺・総持寺住職として補任状が発令され、のち晴光院の住職に赴任する慣習があった。本堂の屋根瓦は菊

花16弁紋章入りが常である。また『晴光院記』や高祖道元禅師著『正法眼蔵』の板本も所蔵されている。

寺院の本尊は六道のうち、修羅道を権現化する11面観世音菩薩で立派な美しい立像であるが、残念なことに制作者・制作年代が不明である。境内西側の六地藏尊は旧寺院跡より発掘された鎌倉時代の作と言われている。

現在の本堂は平成2年(1990)近郷の神崎・鶴吉などの有志や檀家の方々の寄進により新築され、山門と庫裡は全面改築された。(写真は晴光院の本尊11面観世音菩薩である。)

